



食品の粒度分布測定

食品の粒度は食感、舌触り等に影響いたします。

粒度分布評価にレーザー回折散乱法及びSEM観察をご活用ください

- SEM観察結果を元にレーザー回折散乱法の条件を検討いたします。

レーザー回折散乱法は、分散媒の種類や、分散条件を最適化する必要があります。ご提供試料をSEM観察することによりレーザー回折散乱法の測定条件を決定いたします。工程管理の指標としてもご活用下さい。

レーザー回折散乱法測定例

- アーモンド粉末の粒度分布

界面活性剤を分散媒に用いて測定を行いました。

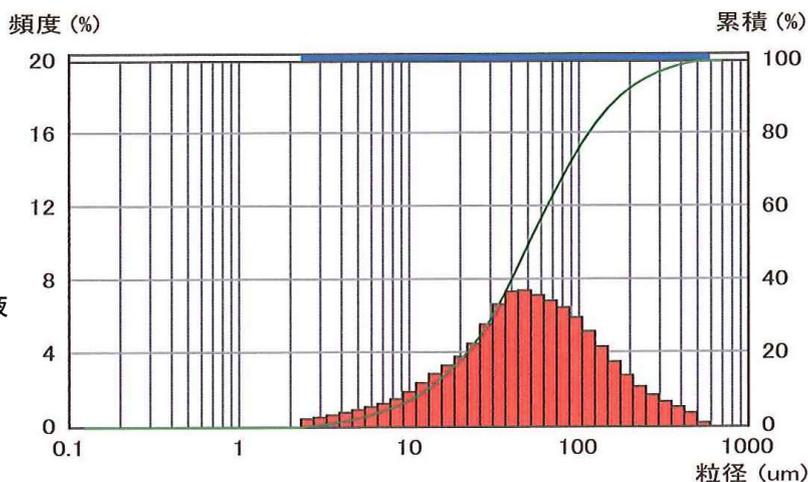


図1 粒度分布測定結果

【装置仕様】

測定原理: 体積分布

粒径測定範囲: 0.145~704 μm

分散媒: 蒸留水、エタノール、ヘキサメタリン酸水溶液
界面活性剤 等

SEM観察例

- アーモンド粉末のSEM観察

【装置仕様】

ULV-SEM:

加速電圧(1kV)

倍率(×100、×5000)

検出器(SE2)

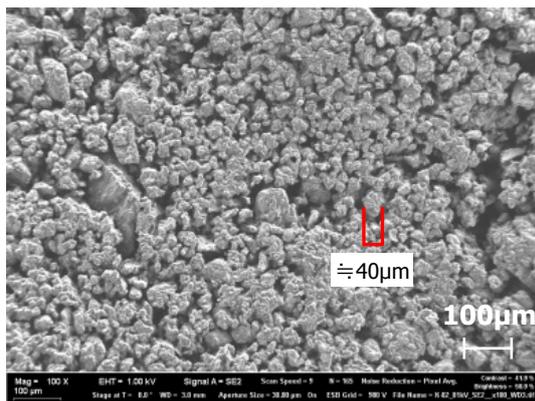


図2 アーモンド粉末 SEM像(×100)

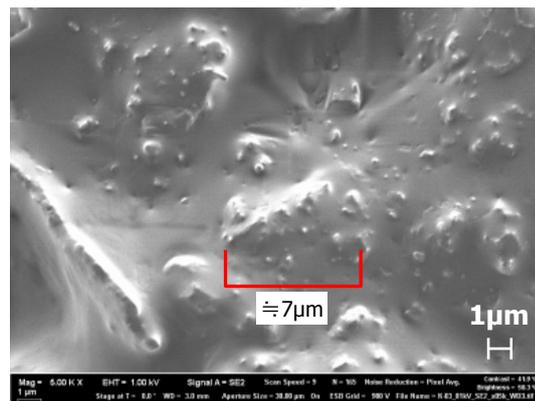


図3 アーモンド粉末 SEM像(×5000)

SEM像と粒度分布測定により実際の粒子状態の確認と、工程管理の指標として粒度分布測定をご活用いただくことをご提案いたします。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2015 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。